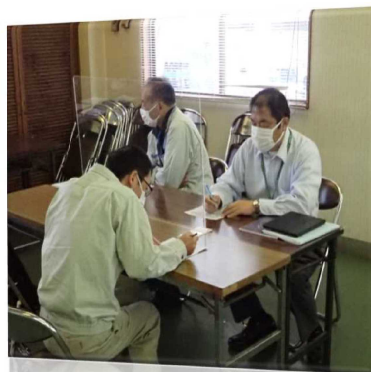


多様な担い手の確保 ・育成と定着支援

計画年度：令和3年～令和5年



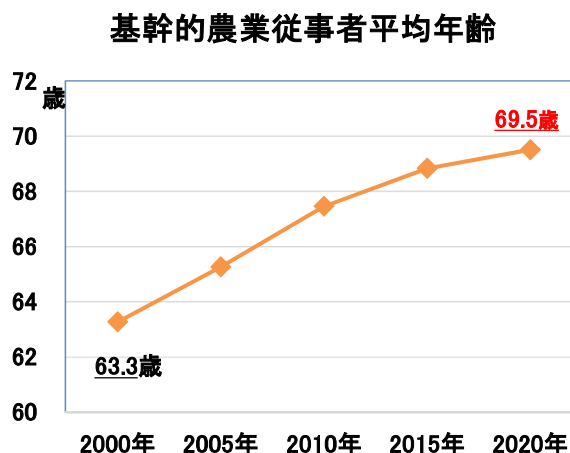
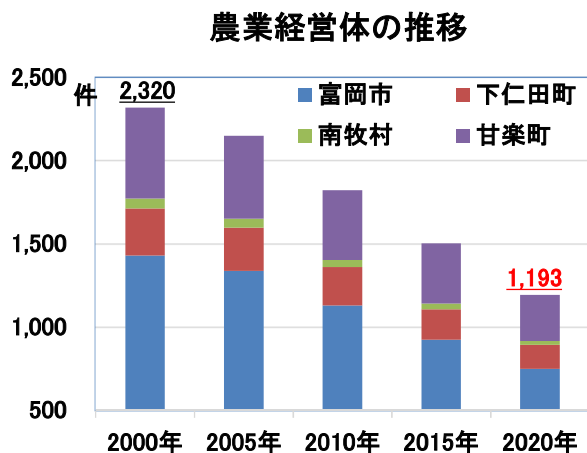
西部農業事務所 富岡地区農業指導センター

1

1 課題設定の背景及び理由

(1) 地域の農家数減少と農業従事者の高齢化が進行
→ 産地の衰退が懸念される

表1、2 管内の市町村別農業経営体数及び基幹的農業従事者平均年齢
【2000年から2020年の農林センサス調査データより作成】



2

1 課題設定の背景及び理由

(2)管内65歳以下の新規就農者は10名程度で推移

→ 産地維持のため、新規参入者等幅広い人材を確保・育成する必要

(3)就農者の状況に応じた対応が求められる

→ 就農相談者の多くは新規参入・農業未経験者

→ 新規就農者に向けた地域の連携・支援が必




→ 就農相談対応の高位平準化

3

2 主な推進課題と解決手法

(1) 関係機関等連携による就農支援

【支援対象：市町村（農業委員会）、JA、
研修受入農業者組織、新規就農者】

主な活動	R3	R4	R5
関係機関等連携会議による 就農支援体制の強化			
ワンストップ就農相談			
農場見学・農業体験(研修) の受入れ			

4

2 主な推進課題と解決手法

(2) 新規就農者の定着支援

【支援対象：就農後原則5年までの新規就農者】

主な活動	R3	R4	R5
重点指導農家巡回指導	←————→		
経営士等地域リーダーとの交流	←————→		
農業基礎・複式農業簿記基礎講座	←————→		



地域農業の担い手となる新規就農者が、甘楽富岡地域で営農を継続できるよう、(1)、(2)を実施

5

3 到達目標(目標年次の姿)

目標	R2	R3		R4		R5	
	現状※	目標	実績	目標	実績	目標	実績
新規就農者数 (人)	11.4	12	12	12		12	
過去5カ年就農者定着率 (%)	89.4	90	90	90		100	

※ 現状値は新規就農者実態調査の5箇年(H28~R2)のデータから算出

6

4 活動経過及び結果

(1) 関係機関等連携による就農支援

【活動経過】

- ① 甘楽富岡地域担い手支援担当者会議：2回
(目標：2回)

- ・関係機関の就農支援に係る計画や事業の共有
- ・就農支援に円滑な就農相談ができるよう、ワンストップ就農相談の確認
- ・就農相談者に対する意見交換



写真1 甘楽富岡担い手支援担当者会議

7

4 活動経過及び結果

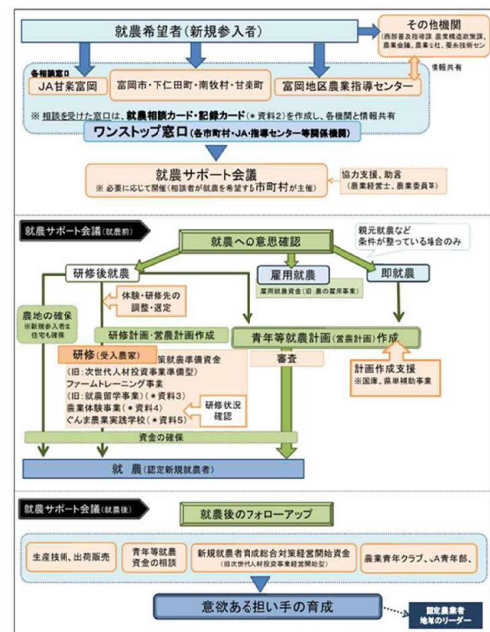
(1) 関係機関等連携による就農支援

【活動結果】

- ・経験の浅い担当者の業務に対する理解が図られた。
- ・普及と関係機関との相談体制の徹底が図れた。
- ・就農相談者の意見交換には時間不足。普及からの説明が中心で、一部市町村の担当者とのやりとりに終始となった。

➡ 別途巡回方式による情報共有会を計画

甘楽富岡地域の就農相談体制



8

4 活動経過及び結果

(1) 関係機関等連携による就農支援

②市町村情報共有会の開催（指導センター巡回方式）

【活動経過】

富岡市：2回 下仁田町：2回
甘楽町：2回 南牧村： 2回
JA： 1回 **合計 9回**



写真2 情報共有会の様子(南牧村)

【活動結果】

- ・市町村・JAでは、主担当以外の職員も出席。**意見交換が活発化**
- ・内容を就農相談者に関することに限定したため、**十分な情報共有ができた。**
- ・定期的に情報共有会の実施を望まれ、**連携が強化**

9

4 活動経過及び結果

(1) 関係機関等連携による就農支援

【活動経過】

- ・**ワンストップ就農相談**による就農計画等作成支援
- ・JAと連携した**就農・営農相談会**の開催
- ・農業経営士、農村生活アドバイザーと連携した**現地見学**の実施



写真3 ワンストップ就農相談事例
(就農相談者と役場・普及指導課・指導センター)

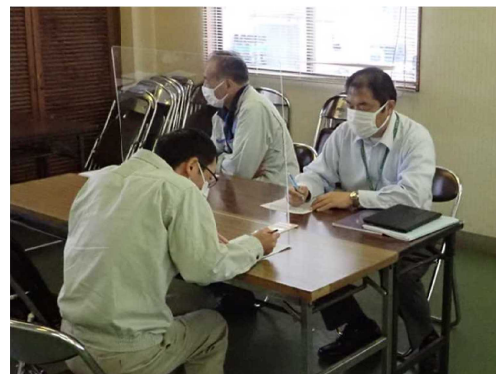


写真4 毎年4地域で開催する就農・営農相談会
(JA・指導センターが相談対応)

10

4 活動経過及び結果

(1) 関係機関等連携による就農支援

【活動結果】

- ・就農相談対応51人
(前年から継続33人、新規18人(うち夫婦1組))
- ・認定新規就農者2人が農業経営開始
→ 内、親元就農をした1人が経営発展支援事業実施



写真5 農業経営士による就農支援



写真6 農村生活アドバイザーによる就農支援

4 活動経過及び結果

(2) 新規就農者の定着支援

【活動経過】

- ① 「先輩農家の畑を見て歩こう会」: 1回(目標1回)
参加者: 4人

- ・新規就農・参入後5年以内の就農者を対象とし、農業経営・栽培技術等の工夫や改善等を現場で学ばせた

【活動結果】

- ・労働力の確保や経営開始後の改善点等、先輩農家から感銘
- ・意見交換から、就農者が自身の反省点を発見
- ・就農者と地域の先輩農家との交流促進



写真7 先輩農家の畑を見て歩こう会

4 活動経過及び結果

(2) 新規就農者の定着支援

【活動経過】

②「農業経営者基礎講座」: 4回(目標4回)

延べ24人(実質9人)の新規就農者と関係者が参加

第1回: 経営士の経営・栽培管理を学ぶ

第2回: 農作業安全、農作業機械点検、共済制度

第3回: 農業経営の基礎知識(簿記の基本)、収入保険

第4回: 農薬適正使用、GAP、土壌肥料



写真8 農業経営者基礎講座(経営士の見学)



写真9 農業経営者基礎講座(農業機械研修) 13

4 活動経過及び結果

(2) 新規就農者の定着支援

【活動結果】

- ・農業経営に係る知識や技術の習得につながった。
- ・新規就農者(参加者)同士の交流機会が創出できた。



写真10 農業経営者基礎講座(GAP講座)



写真11 農業経営者基礎講座(土壌肥料座学)

5 到達目標に対する実績

	R2	R3		R4		R5	
目標	現状	目標	実績	目標	実績	目標	実績
新規就農者数（人）	11.4	12	12	12	13	12	
過去5箇年就農定着率（%）	89.4	90	90	90	90.4	100	

- ・計画した活動に加え、市町村情報共有会を新規開催し、就農支援の取組を強化した結果、**新規就農者は13人**を確保。
- ・過去5箇年の**就農定着率は90.4%**。

15

6 残された課題と今後の対応

(1) 関係機関等連携による就農支援

【課題】

- ・市町村・JA**担当者のスキルアップ**
→ ワンストップ就農相談の効果を高めるために、新任担当者の相談技術習得が求められる

【今後の対応】

- ・**就農相談担当者向け研修会**を開催
- ・巡回方式による**情報共有会**の**実施**



写真12 担い手担当者就農相談研修会
(※令和5年度5月23日開催)

16

6 残された課題と今後の対応

(2) 新規就農者の定着支援

【課題】

- ・新規就農者への**フォローアップ**継続
→ 対象者個々にそれぞれの課題を確認し、解決に向けた支援を指導センター、関係機関と連携し取り組む

【今後の対応】

- ・地域リーダー等との合同研修会、農業経営者基礎講座、複式農業簿記基礎講座等開催と交流
- ・フォローアップ対象農家のタブレットを活用した個別指導

17



背景：複式農業簿記基礎講座

18